

公表：令和5年3月1日

事業所名 ドリームつばさ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・年齢やねらいに応じて仕切りや、部屋を分けるなどして環境設定を行っている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・人数や活動内容に応じて職員を配置している。お子さんの特性を踏まえ必要に応じて個別対応できるように配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			・個別活動時には、パーテーションで区切るなどの対応を行っている。バリアフリーが必要なお子さんはいないが、手すりを設置し安全の配慮をしている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・感染対策として午前・午後の療育後に定期的に消毒を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・支援会議を行っている。 ・職員間で回覧ノートを利用し、伝達不備のないようにしている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・集計結果を職員全体で共有し、業務改善の為の話し合いを行っている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・定期的にアンケートを実施して、結果をホームページで公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			オンラインによる研修を実施。また定期的に外部から講師を招聘し、具体的な支援方法を学ぶ機会を作っている。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・定期的にあセスメントを行い、保護者からの要望や幼稚園や保育園等での様子、病院受診結果等の情報をもとに個々に合った支援を考え支援計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・アセスメント教材とシートを使用している。研修後は新たなアセスメントツールを使用するなど、お子さんの発達についての把握に努めている。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・ガイドラインに則した支援項目を設定している。関係機関との情報共有の機会を設け、必要な支援を支援計画に反映させ作成している。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・支援計画作成後は、全員で内容に沿った支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・担当職員が中心となり全員で意見を出し合い立案している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・子どもの年齢や季節などにより、その時期に合うプログラムを固定化しないよう考えている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・お子さんの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせながら支援計画を作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援開始前に、活動担当が中心となり活動内容と役割分担の共有をしている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・小会議の時間を設けて振り返ることで職員間での共有を図っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・保護者の方へ連絡ノートの他に、個人記録ファイルを用意して計画の評価を日々行っている。共有の必要な情報は話し合いを行い改善につなげている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・半年に1度、または必要に応じて支援計画の作成、見直しを実施している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・管理者が中心に会議に参加している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・関係機関と電話や必要に応じて見学などを行い連携を図っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					該当なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					該当なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・サポートファイルを使用し、就園先に提出する等、情報共有に努めている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・電話や見学などを通して情報共有を行っている。また、必要に応じてサポートファイルを使用し情報共有を行っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・定期的に専門機関にアドバイスをもらっている。また、専門機関による研修に参加している。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		コロナの影響によりできなかった。開催を検討していく。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				オンラインでの協議会に参加。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				・連絡ノートや送迎時に日々の様子を伝えていく。 ・面談時だけでなく必要な時には電話や対面で相談しながら発達状況や課題について共通理解ができるようにしている。
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○				・必要に応じて連絡ノートや電話で、家庭で行うことのできる対応方法やアドバイスを行っている。	

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に説明を行っている。また、質問があった際や変更があった際には説明を行っている。	
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			・支援計画作成時期や必要に応じて面談を行い、お子さんの様子や今後の支援について説明を行った上で、了承を得ている。	
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・面談時以外にも、必要に応じて電話での相談を受けている。また、連絡ノートでの相談にも応じている。	
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・実施予定であったが、コロナの影響により開催ができなかった。今年度はオンライン研修を通して保護者勉強会を実地した。	感染状況に応じて検討していく。
	㉔	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・連絡ノートや送迎時に相談等の申し入れがあった場合はすぐに対応をしている。	
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・ブログやおたより（ドリーム通信）・インスタグラムを通して発信している。	
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・契約時に説明を行い、取り扱いには十分注意している。	
	㉗	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・お子さんや保護者の気持ちに寄り添い、相談しやすい環境を作る等の配慮をしている。	
非常時等の対応	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・コロナの影響によりできていない。	・状況に応じて行っていく。
	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			・マニュアルを策定し、訓練実施内容をグループ通信を通して周知している。	
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・定期的に火事・地震・不審者・洪水等の災害を想定した訓練を行っている。また非常食などの補充・点検も行っている。	
	㉛	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			・契約時に保護者からの聞き取りを通して、お子さんの状況を確認している。必要に応じて非常用の薬を管理し、緊急時の対応についてを確認している。	
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			・契約時に保護者からの聞き取りを通して、お子さんの状況を確認している。	
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・事案があった際には報告書を作成し、再発防止の為に会議を行い、職員全員で共有している。	
	㉞	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止委員会が中心となり、定期的に研修を実施している。	
	㉟	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			・お子さんのケガや事故防止の際に行動を制止させて頂く場合について、支援計画の中に記載し、保護者の了承を得ている。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。